

令和三年十一月二十九日

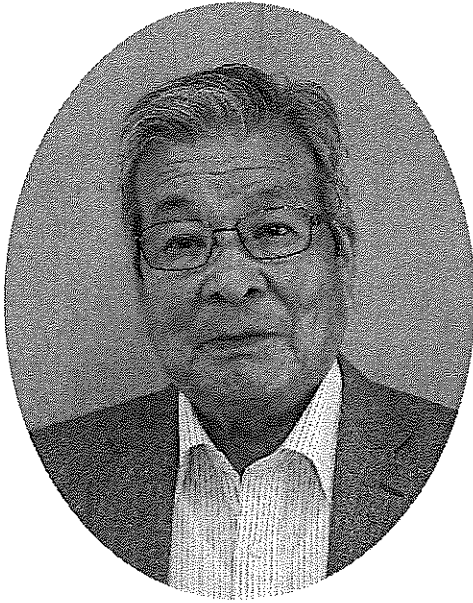
第三十七回
産業功勞者表彰

事
績
概
要

三
重
県

長^は
谷^せ
康^{やす}
郎^お

鈴
鹿
市



事
績
概
要

氏は、三重県農業会議の副会長、会長を歴任し、強いリーダーシップにより、県内の農業委員会をはじめ、農業者団体を統括し、農地の無断転用防止や荒廃農用地・遊休耕作地の抑止に努め、優良農地の保全と確保に尽力した。

氏は、現場からの意見を汲み上げることに長け、食料・農業・農村政策の強化に向けた政策提案などに積極的に取り組み、県農政の推進に貢献した。

さらに、地元の「農地・水・環境を守る会」の主導的な役割を果たし、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための共同活動等の農村活動を中心にした地域コミュニティの強化に尽力した。

このように、氏の地域農業の振興発展と環境保全に寄与した功績はまことに顕著である。

前^{まえ}
川^{かわ}
洋^{よう}
子^こ

津
市



事
績
概
要

氏は、平成五年から水田農業の経営主となり、平成二十年には家族とともに株式会社前川農産を設立した。

同社は地域との連携強化により経営面積を拡大し、県内のモデル的経営体である。

氏は農業人材の育成に向け、従業員の教育にとどまらず、地域貢献という経営理念のもと、三重県農業大学校の学生の研修受入にも積極的に協力するなど、広く尽力している。

また、長年に渡り、三重県農村女性アドバイザーとして、小学校への出前授業や親子の野菜作り体験による地産地消や食育活動の推進に、さらに、女性が活躍できる環境づくりに大きく貢献し、平成三十一年に退任後も同アドバイザー活動を支えている。

このように、氏の地域農業の振興発展と女性活躍の推進に寄与した功績はまことに顕著である。

角^{かど}
前^{まえ}
博^{ひろ}
道^{みち}

伊勢市



事績概要

氏は、競争が激化していたスポーツ用品小売業界で組合員の経営サポートを行うため、平成十二年に発起人代表として三重県スポーツ用品協同組合の設立に尽力した。設立と同時に理事長に就任して以降、組合事業を円滑に推進し、組合員の経済的地位の向上に貢献している。

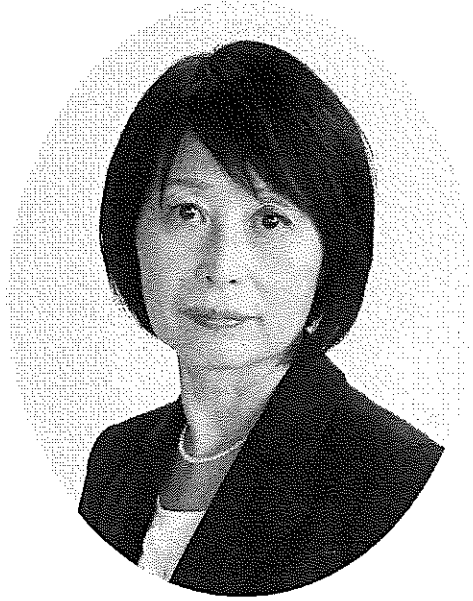
また、平成二十年から十年間日本スポーツ用品協同組合連合会副理事長として「スポーツ用器具管理アドバイザー制度」を推進し、組合員への資格取得を推奨するなど、業界の人材育成に尽力してきた。

さらに、三重県中小企業団体中央会理事として中小企業の振興発展に寄与するとともに、伊勢商工会議所や伊勢市駅前商店街振興組合の役職を務め、地域活性化のため幅広い活動を行っている。

このように、氏の業界の人材育成や地域産業の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

西^{にし}
岡^{おか}
慶^{けい}
子^こ

津
市



事績概要

氏は、平成十三年に株式会社光機械製作所代表取締役社長に就任し、切削技術や超精密加工技術を軸に東海圏のものづくりを牽引するとともに、社員向けの「経営塾」や技術継承の「ものづくり道場」などを実施し、人材育成にも注力している。

さらに、従来は女性がいなかった生産管理・設計部門などに女性を登用し、高い顧客満足度で業績を向上させた。

また、三重大学や鈴鹿工業高等専門学校では、経営やグローバルリーダー論についての講義を行うほか、名古屋工業大学が主催する「女性技術者リーダー養成塾」の塾長を務めるなど、県内外でのダイバーシティ経営などに関する講演を数多く実施している。

このように、氏の業界の人材育成や地域産業の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

わた なべ (かずま)
渡邊(数馬)
桂子 けいこ

四 日 市 市



事 績 概 要

氏は、昭和五十二年にイング株式会社取締役企画室長に就任し、昭和六十三年に国内初のパジャマ専門店をオープンするとともに、当時パジャマの専用売り場がなかった百貨店に提案し、パジャマ売場の設置を実現させた。

また、商品企画の指導や店舗経営の考案などコンセプトプランナーとして活躍するほか、オリジナルブランドを立ち上げ超大型犬の服やスタイなどニッチな分野の商品を開発し市場を開拓している。

さらに、四日市商工会議所女性部、三重県商工会議所女性会連合会の役職を務め、女性経営者のネットワーク構築や被災地への支援事業に取り組みとともに、ばんこの里会館の館長として萬古焼の振興策を講じ、地場産業の振興に尽力している。

このように、氏の市場の開拓・拡大や地域産業の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。